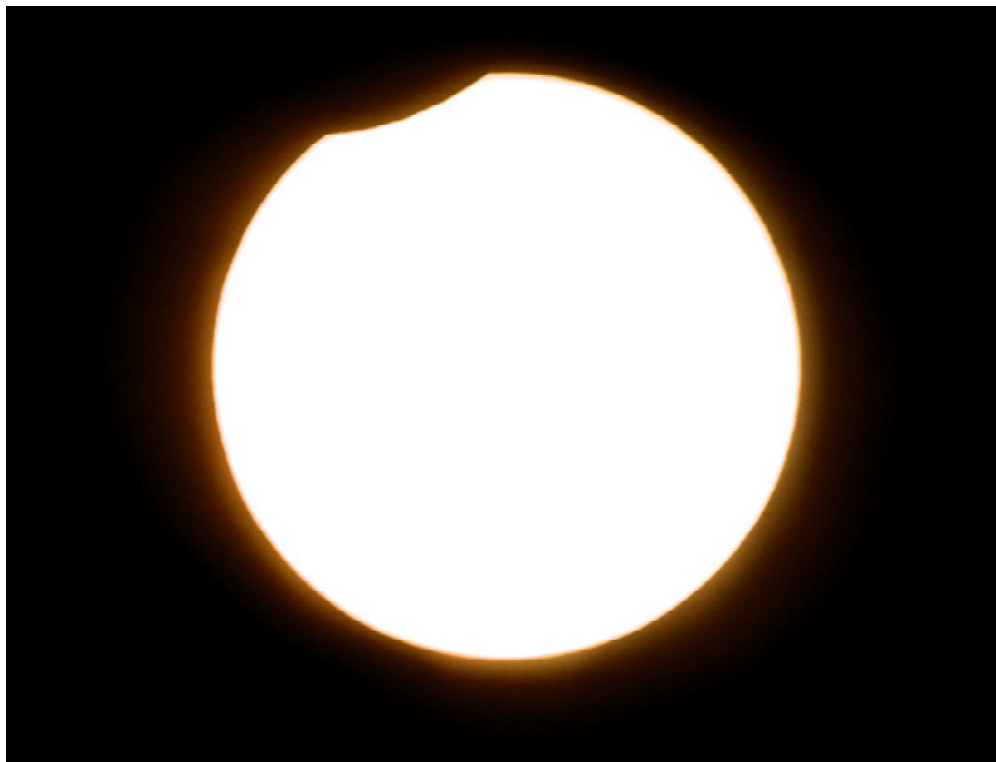


PLEIADES



札幌で見られた部分日食 (11時59.7分 最大食分4.7%)

2007年3月19日 11:59:54 (JST) 札幌市内の自宅前にて 柴田健一

札幌天文同好会 Sapporo Astronomy Club

札幌で見られた部分日食

柴田健一

昨年11月9日の水星の日面通過は、予想に反して晴れたため、忙しい思いをしたばかりです。今回は多少の準備と天気予報が当たり、食が始まったときは、雲が厚かったものの太陽が見えて、終了にかけて、晴れてきました。今回もNo. 155の「私の愛機」で紹介した新しい望遠

鏡での撮影です。適正露出にすると雲が写っているため、オーバーの写真とし、雲をとばしました。太陽撮影は、高速シャッターが切れるため、一眼レフ(D70S)を使用しました。電気式のレリーズはD70のリモコンよりは使いやすく感じました。部分日食ですから、たいした写真ではありませんが、限られた

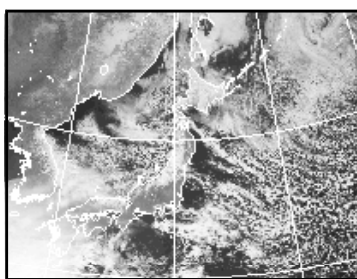
観測地域の天候が悪かったので、貴重な記録になったのでは？と考えています。ただし、口径77mmを

100%活用したにも係わらず、黒点が全くなかったのは残念でした。



日食が見られた地域

北海道から西日本（月刊天文ガイドより）



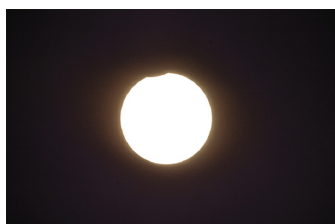
3月19日 12時の衛星可視画像

日食が見られる地域には雲がある

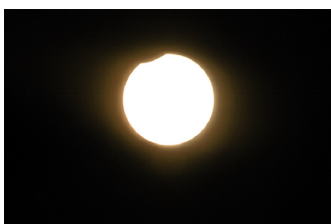


ビクセンGPDに載せた

76ED（左）と77ED II +D70S（右）



11 : 48 : 12



11 : 59 : 53



12 : 18 : 11

ND4.0×1+77ED II (f=510) ×1.4=714mm+D70S 1/2000程度

表紙はトリミングですが、この画角はフルサイズ

2月例会 出席者の一言

後藤榮雄：5月4日から11日まで、中央アジアのウズベキスタンに行ってきます（例会は休みます）。宿泊地は、ヒワ・プハラ・タシケント・サマルカンドです。サマルカンドは14～15世紀に栄えたティムール帝国の都であったところ。15世紀に建設した天文台の遺跡があり一部復元されているようなので楽しみです。

生田 盛：4月14日から21日まで、西オーストラリアパース南方150kmにある「ウイリアムズ地区」に星見に行ってきます。ツアーは誠報社がバックアップしておりベテラン天体写真家一行15名がメンバーです。私のテーマは、天の川の観望と写真撮影です。頭上に広がる天の川は、まさに宇宙人になった気持ちになります。オーストラリアの星見はこれで9回目になります。

中山 正：部分日食は天候が良くなく、仕事をしていました。その時だけ晴れたみたいで、残念でした。雪解けと同時に仕事が入って、さそり座の新星も見

ていません。4月14・15日の月による火星食と天王星食には挑戦します。

越後恵子：ここずっと、慌ただしい日々が続き、夜空をあまり見ることもありませんでした。長年続けていた夜のウォーキングも休んでいるので、なおさら星空を見なくなりました。でも、昨夜は金星がクリスマスツリーのトップのように五角形の大きな形に見えました。

西野 浩：夕方の星空は金星・土星と賑やかになってきましたね。今年のムーンライトウォッチングは例年より1回多く、7回計画しました。今年も、多くの人に楽しんでいただきたく、会員のご協力をお願いします。

横山明日香：先日父が他界しました。約50年前に弟と一緒に望遠鏡を作り、土星の輪が見えたと言っていたことがありましたが、あまり信用していませんでした。しかし、今回のことで弟（叔父）さんとたくさん話をする機会があり、本当だったことが判り

ました。叔父さんは、私が撮ったオーロラや星景写真を喜んで見てくれました。50年前の手作り望遠鏡について、皆さんの話を聞かせていただきたいと思

っています。

柴田健一：編集後記参照

4月例会より

南天の星座（生田）

生田さんは9回目のオーストラリアですが、地を問わず天頂から襲いかかるさそり座、逆さにならず地上を徘徊するヘルクレス座、逆さになってもあまり形が変わらないオリオン座などの話題がありました。また、長く延びている天の川銀河をどうやって撮影するか、なども話題になりました。5月例会で披露される南天の星空が楽しみです。

星空教室（柴田）

8月11日（土）のペルセウス座流星群に合わせて北海道電力の共和町にある原子力PR館で地元の小学生を対象に「星空教室」が開催されることになり、講師の派遣を依頼されました。責任者の私の他2名です。星を見るのは20-21時の間で、星座観望と木星の望遠鏡観測です。ムーンライトウォッチングのメンバーに協力をお願いしたいと考えておりますが、「星空教室」終了後は、会として神恵内の「ゆうなぎ荘」に集合して星見の宿泊を計画しています。

火星食（中山）

ステラナビで、4月14日白昼に見られる火星食のシ

ミュレーションを見ました。土曜日なので期待を持たれましたが。（当日は生憎の雨でした。）

「星ウォッチング発表会」のビデオ（中山）

「北海道星ウォッチング発表会 in 札幌」開催について3月号で紹介しましたが、中山会員がその模様を撮影し、編集したビデオのダイジェスト版を見せてくれました。



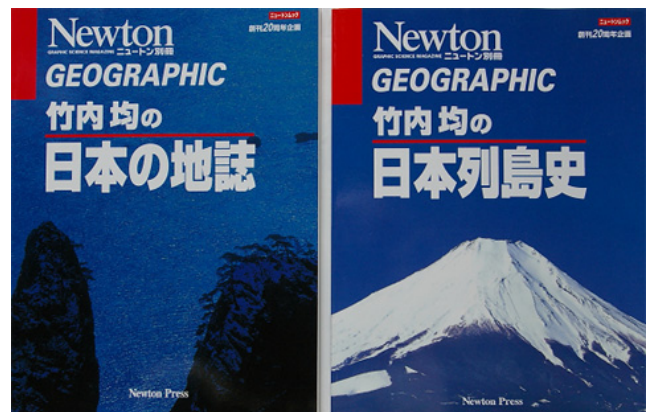
北海道星ウォッチング発表会 in 札幌のビデオを見る会員
2007年ムーンライトウォッチングの計画（西野）
6Pの通り開催しますが、今年は4月28日（土）から始まります。会員のご協力をお願いします。

ニュートン読者モニター今年も引き受けました

中山 正

2005年2月、気軽にモニター募集に応募してしまいましたが、いつの間にか3年目を迎えました。昨年も皆勤賞の商品として、竹内先生の本を二冊いただきました。モニターになってみて、本を創る人の苦勞が少しわかってきたような気がします。毎月全ページを読んでいると、毎回どこかが変わっているのに気がつきます。

一目でわかるのが、紙面の担当者の名前が最後に記載されるようになったことでしょうか。写真も多く採用されるようになりました。読み物+観る雑誌に変わっています。内容も、初級者から専門知識を持った人にも楽しんでもらえるように、同一紙面に読者別に分けて記載されるようになりました。読み



科学雑誌「ニュートン」モニター皆勤賞の賞品
物別に活字・色使い・段組が工夫されるようになりました。特に行間が拡がり小さい字が読みやすくなりました。字の配色もベースの色を考慮して変更さ

れています。内容に関しても読者に配慮した工夫が随所になされています。

今度ニュートンをご覧の際はどこが変わってい

るか確かめてみてください。読者モニターの意見が確実に反映されている、数少ない一般向け科学雑誌としての「ニュートン」に期待する価値があります。

事務局より

●次回例会

5月5日(土)18時から。札幌市社会福祉総合センター。4階特別会議室です。

●会費受領

横山明日香

会費未払いの会員は、納入をお願いいたします。例会に持参いただくか下記に振り込み願います。

郵便振替口座：02780-7-31295 名称：札幌天文同好会

一般会員の会費は5000円です。

●会員募集

募集広告を、4月20日の北海道新聞夕刊の掲示板に掲載しました。

●ムーンライトウォッチング

2007年のムーンライトウォッチングについて、札幌市緑の管理課に公園使用を申請して受理されました。「通行人の邪魔にならないように」との条件付です。4丁目の使用許可もできました。

なお、「道新の文化教室」は2丁目で行ってるそうです。

●横山明日香さんの歓迎会

4月7日例会終了後会員6名の参加で午後11時30分まで大通20丁目の居酒屋で開かれました。

(柴田、後藤、生田、西野、中山、横山) 会費の端数、1330円が会に寄付されました。

●事務局宛に、「小樽星の会」の古川会長からお便りを頂きました。会長は、足がご不自由になりベッドでの生活を余儀なくされております。また、指先も交通事故以来ご不自由なところ、手書きで近況を頂きましたが、当会の会報を楽しみにしておられる様子が分かります。現在、小樽市新光2丁目の東小樽病院301号室に入院されておりますので、小樽へお出かけの際、立ち寄っては如何でしょうか。ところで、会報の発行と例会は中止しておりますが、「小樽星の会の掲示板」(<http://6004.teacup.com/tarubosi/bbs>)は賑わっています。最近では、久々に帰郷する会員のためにミニ例会が5月6日(日)に開かれ、二次会を開催するとの書き込みもあります。興味にある方は覗いてみてください。

事務局 横山さんへ
3月に入って冬に戻ったような気候で春はまだ遠いという感じですが、会報をいただき礼状も出せず申し訳ありません。お礼の7冊外でいいですね。表紙の5月号の写真、総会には少しさびしい感じ。後藤さん中山さんの元気の幸甚に安堵感あり、これには柴田会長様もあはれと思えます。もう過半数になりましたよ。明日は春分です。もうそろそろ星見に入るでしょう。私の方へも入院しよう。皆々へお便り。
よろしく

4月 中山事務局長特選の天文現象

- 15日(土)～5月 ラブジョイ彗星：近日点は通過したが、4月25日に0.4天文単位まで地球に接近。最大7.8等まで明るくなり、双眼鏡で観測可能になるかも？
- 4月22日(日) こと座κ流星群：月の影響がない。最大で1時間に5個程度。
- 5月6日(日)みずがめ座η流星群：月齢19.0明け方輻射点が上昇してくるが、突発も予想される。
- 5月18日から20日夕方、土星・金星・水星の間を月が移動。写真撮影の腕の見せ所！

50周年記念特集号の編集にとりかかりました。
しかし、資料が十分ではありません。
再度、アルバムを点検し、観測会などの写真などをお寄せ下さい。



アンケートを実施中です。

このアンケートは、本会の活動を振り返り、100周年に向けて益々発展していくために、実施します。結果はPLEIADESの「札幌天文同好会 創立50周年記念特集号」に掲載いたしますので、多くの会員の積極的な回答を期待しております。

アンケートには氏名欄があります。匿名希望の会員は、「匿名」と記載してください。現状では纏め方を決めていませんが、氏名は入れず、数字は統計処理する予定です。

記載は、ワープロ・手書き、いずれでも結構です。印象に残った観測会の写真や、新聞の切り抜きなど、ありましたら添えてください。

アンケートの回収は、現在まで5部です。協力をお願いいたします。

ワープロの場合は、Eメールで下記へ送信してください。

(会報をインターネット受信している会員には、様式の保管場所について配信メールで再度お知らせします) 返信先は、shibata-8421@mb.snowman.ne.jpです。

手書きは5月例会に持参してください。



寄稿のお願い

ITの時代になり、情報が氾濫する時代になりました。しかし、サークル活動は、人と人との結び付が基本です。50年間も活動し続けられたのは、会員間に信頼や友情などがあったからだと思います。

訳あって退会されたが、お世話になった先輩会員についての感謝の気持ちを表したり、あの日あの時の想いで話など、星に限らず人に対する思いも原稿にして下さい。

心温まるエピソードが古いアルバムの中にあります。もう一度、アルバムをめくって、かつての会員を思い浮かべてみては如何でしょうか。

「札幌天文同好会 創立50周年記念特集号 PLEIADES 50」 編集局

2007年 ムーンライトウォッチング計画

天文普及幹事：西野 浩

回数	月日(土)	月齢	観望対象
1	4/28	11.0	月・土星・春の星座
2	5/26	9.7	〃
3	6/23	8.4	月・春の星座
4	7/21	7.0	月・木星・七夕星
5	8/25	12.5	〃
6	9/22	11.0	〃
7	10/20	9.3	月・天王星・七夕星・アンドロメダ座の大銀河

12年目を向かえるムーンライトウォッチングです。、今年は土星の条件が良いので1回増やして、上記の通り実施いたします。昨年実施できなかった、モニターテレビを使つての天体映像表示が今年の挑戦になりますので、皆様のご協力について、よろしく願いいたします。

なお、国立天文台のスターウイークは8月1日からの1週間ですが、その行事としても登録するほか、札幌市社会福祉協議会のボランティア活動としても公表して活動する予定です。

編集後記

柴田 健一

骨折のリハビリは順調で、通院は月2回になりましたが、足は引きずって歩いていきます。5月初旬に撮影するレントゲン結果でも接着したと言われないでしよう。複雑骨折ではありませんが、最悪の骨折だったようです。近年こだわっている、彗星ですが、オーストラリアのラブジョイさんが3月15日に発見してくれました。4月25日頃には7等級後半になる予報なので、ニコンの180ミリF2.8の2本目のレンズと、77EDIIの試写が待っています。足を引きずってでも撮影しなければなりません。良い写真が撮れれば5月号の表紙になるかもしれません。生田さんが南半球で撮影した天の川銀河に期待しています。計画では、これを執筆している4月21日には帰国されています。きつと、5月例会の話題には、これで持ちきりでしょう。最近、例会の出席者が固定していません。南半球の星の写真を見て、ひさびさの会員は会費もお支払い願えればありがたい、と会計担当が申し出ておりました。では、例会でお会いしましょう。

発行：2007（平成19）年 4月20日 札幌天文同好会 Sapporo Astronomy Club

事務局：〒007-0845 札幌市東区北45条東9丁目2-33 TEL：011-741-8830

中山 正

編集・ホームページ：柴田健一 / 印刷：生田 盛 / 印刷部数：20

HP：<http://www2.snowman.ne.jp/~Shibata/>

郵便振替口座：02780-7-31295 名称：札幌天文同好会